

・さいさい踊(8月16日)

(三豊市)

■ 8月16日 溪道(たにみち)神社 三豊市旧財田町



その昔、大干ばつの時に、村に一人の山伏がやってきて「竜王に奉納せよ」といって、この踊りを村人達に教えたと言われ、野良着のままで蓑(みの)をつけ、たからばちを被って踊ったという素朴な踊りです。この踊りは、中央に床几(しょうぎ)を置き、踊り手が円陣を作り、太鼓・鉦を伴奏に、三人の歌い手とともに踊り手も唄います。歌詞は十三章からなっており、江戸時代初期にさかのぼる中世小歌を用いた風流踊りといわれています。